

# 2019年度 前期 漢検 漢字文化研究所 連続講座 第5弾

聴講料  
各回 1,500円  
(入館料込)  
年パスお持ちの方  
各回 800円

## 若手研究者からの発信－漢字研究の新展開

各地の研究機関で漢字研究に従事する若い研究者たちが、いますぐれた業績を着実にあげています。今回の講座では、伝統的な学問体系をふまえつつ、情報化社会と学際的環境の中から発信される、新進気鋭研究者による成果に注目いたしました。



藤本 灯



鈴木 舞



小林 雄一



根来 麻子



山下 真里



田中 郁也

開講日	テーマ
4月20日(土) 14:00～15:30	<b>古辞書の中の漢字語－日本における用例－</b> 平安時代の辞書の収録語彙が、当時の日本の文献にどのように現れるのか、辞書の性格と併せて見ていきます。 京都府立大学 文学部 講師 藤本 灯
5月18日(土) 14:00～15:30	<b>文字を作る技術</b> 古代中国漢字を生んだ技術とその背景を、殷周時代の金文を例にご紹介します。 学習院大学 東洋文化研究所 助教 鈴木 舞
6月15日(土) 14:00～15:30	<b>語源辞書『名語記』</b> 鎌倉時代に作られた、日本で最初の語源辞書『名語記』の魅力を紹介いたします。 漢検 漢字文化研究所 研究員 小林 雄一
7月27日(土) 14:00～15:30	<b>漢字で文章を綴ること－「宣命書き」の役割－</b> 助詞助動詞などを小書する「宣命書き」を中心に、上代日本における表記法の特徴と役割について考えます。 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 講師 根来 麻子
8月10日(土) 14:00～15:30	<b>社会の変化と略字</b> 「広」と「銭」という漢字を例にして、社会の変化によって略字が生まれたり消えたりする現象を考えます。 九州女子大学 人間科学部 講師 山下 真里
9月14日(土) 14:00～15:30	<b>漢字注音法の歴史</b> 漢字の発音を表すには、歴史上どのような方法があり、そこから何が読み取れるのか、わかりやすく解説します。 漢検 漢字文化研究所 研究員 田中 郁也

講座は、各回違うテーマで、内容が連続する講座ではありません。  
ご自身の都合に合わせて、ご興味のあるテーマのみの受講ができます。

聴講料 全回早期一括申込み割引 (2019年4月20日まで)  
入館料込 8,000円 年パスと同時申込み 6,500円  
(年パスお持ちの方 4,000円)



漢検 漢字博物館・図書館  
Japan Kanji Museum & Library

申込み・問い合わせ先  
電話：075-757-8686  
www.kanjimuseum.kyoto